

ホール

場所	機能	現状・課題	有識者会議	ワークショップ	報告書案における記載
舞台	数・広さ	舞台の袖、奥行が狭い	舞台袖が、ピアノが無かったとしても狭い。大道具等に転倒や接触する危険がある	・明るくきれいになってほしい ・音楽・舞台・公演など多目的に適したホール→350名（現状維持） ・大きくはしなくてよい	舞台や舞台袖は可能な限り広く確保し（現在の後壁を撤去する等）
	動線	楽屋や客席からの動線が悪い			舞台裏の諸室配置も見直す等により、安全でスムーズな動線を確保した舞台裏空間
	諸室	倉庫が狭い ・ピアノ庫がなくピアノ2台が舞台下手に直置き。			什器、大道具備品、音楽備品、照明・音響備品等を収納する倉庫や、舞台等で利用するテーブル・椅子等を収納する倉庫に加え、適湿適温な環境を保持できるピアノ庫
	設備	・上手は、吊物手引き綱元があり、またカバーがないため利用者の手に触れると危険。 ・舞台袖の操作関係が上手に配置されている。 ・舞台設備（舞台機構、照明、音響）の老朽化。 ・音響反射板(天井)が固定のため、舞台上部の吊物設備が有効に利用できていない。	・シアター系の機能を充実し、配信等の新しい技術を使って発信していく、20年先のカルチャーに対応できるような先進的なものを盛り込む方向に ・デジタル対応で、外や中で繋がる新しい仕掛けを ・若い人が実験的な表現をしようとしたときに、最新の音響、照明、デジタル機器が入っていないと対応できない	・クラシック以外で使いやすく、音響設備、動画配信映える ・ホールのWi-fi機能@→LIVE 中継需要に対応	舞台特殊設備は、市民が使いやすい最新設備を備えるとともに、音響反射板の収納方式の見直しにより舞台上のバトン等の自由度を確保し、照明・映像・音響等を利用した高度な演出を実現することで、現在よりも多様な演目・演出に対応
	音響		・楽器の響きがあまりよくない ・音のトラブルは致命傷	音響の良いホール→オペラ、歌がよく聞こえる！歌手をいつも呼べる！	建築音響面は、費用対効果を考慮しながら、現状より向上
	防音		音が出せるようにすべきだが、どこまで音楽に特化にするかは検討が必要	防音がしっかりしたホール→夜間の公演や早朝のリハで爆音OK	遮音性能の向上を実現し、音楽利用等における現状より幅広い演目に対しても利用の可能性を広げる
楽屋	数・広さ	楽屋の数や広さが不足している。（現在2部屋）	・安全な楽屋を確保したい ・楽屋の大きさにはバリエーションがほしい。 ・楽屋は会議棟の全ての部屋を使わないと足りないような利用もある。	・地下倉庫部分を化粧や身支度ができるスペースに。 ・ピアノだけでなくよく使う楽器や道具を置ける部屋を！ ・ホール→楽屋スペース・練習室、楽器音響機器の保管場所→モノが余裕における規模	・市民利用を中心とした出演者数を考慮した上で、現状より広く、より多く設置 ・基本的に楽屋を主目的とした機能として整備し、さらに、楽屋以外の使い方（会議利用や練習室利用）もできるように
	動線	必要な場合は会議室棟を利用しているが一般動線と交錯	・楽屋から会議室棟への裏動線が必要。 ・簡単な控室利用は一般動線と交差してもよい。 ・舞台から近くないといけない機能と速くても良い機能があることを認識すべき。	ホール（舞台）への動線を考慮した控室（2F～3F会議室の控室利用を防ぐ）→10人/4人収容の2部屋	・楽屋から舞台への動線は、一般来場者と分けられるように工夫 ・舞台に直近で、高さを同レベルに設置
	バリアフリー、設備		・様々な着替えなどの準備に対応しなければならない。それらに対応できることが用途を広げる。 ・鏡は動かせる大きい姿見がよい。10台あると様々なジャンルに対応しやすい。 ・パーテーションがあるとよい ・化粧にライトが必要 ・着替えの設備は特に若年層で気にする人が一定数いる	男女化粧室と着替え室	バリアフリー対応（車椅子対応の洗面台の導入等）とし、楽屋内には着替えブース、化粧前等、身支度ができる機能を設置
	防音	防音機能がなく、音出し可能なリハーサル室や練習室もない	・会議室を楽屋にする可能性があるのであれば防音は必須。 ・楽屋は全て防音にした方が使い勝手が良い		練習等での音出しが可能な部屋として遮音性能を持たせるとともに、会議などの利用時には化粧前の鏡が隠せるような工夫
	便所	便所が舞台裏にあり、本番中に音が聞こえてしまう。そのため、観客用便所を利用している。	トイレまでの動線に懸念。全体的につくりが小さい。	舞台裏の化粧室が小さすぎる	楽屋トイレは、現状の配置を見直し、本番時も使用できるトイレを設置。楽屋ゾーンへのバリアフリー対応トイレの設置も検討
	その他		・近くに倉庫があったほうがよい ・地下は楽屋としての利用を優先させるとよい		楽屋ロビーや、給湯スペースなどの水回り機能の設置も検討
客席	座席幅等	・座席幅が狭く、自動跳ね上げ機能もない。 ・背もたれの傾斜角度が大きい。	快適な座席を確保したい	・座席も狭くて通路側から埋まると奥に入るのが大変 ・昭和レトロな内装はそのままに設備は更新！ ・耐震・防音・座り心地の良い椅子 ・災害の際の避難施設→平土間にできる	座席寸法は、現代のニーズに即した寸法への拡大。消防法の関係から、座面は自動跳ね上げ式を導入
	床	ビニール仕上げが劣化している			床の仕上げは更新
	車いす対応	車いす席が最後部のみであり、望ましい回転軌跡も確保できない。EVが無く客席前方へのアクセスはできない。	平土間利用の際に車いす席動線をどう取るかの検討が必要	車いすを運ぶのが大変	車いす席スペースは、1階席後部に限らず、なるべく多く配置できるよう検討

	移動観覧席		<ul style="list-style-type: none"> ・移動観覧席はあり得る。最近のものは使い勝手が良くなっている。 ・ホールからの避難経路や客席動線について、建築面で全体への制限が生じないか確認が必要。 ・コストの面も考慮して判断すべき。 ・平土間の利用者は若者が多いだろうが、若者は利用料が安い施設を利用するため、あまり利用頻度が高くないのではないかな。 ・見えやすい固定席とし、その分の予算を別に使ってはどうか。 ・費用をかけられ、利用が望めるなら、平土間化は演目を増やすという意味でも魅力的。 ・平土間の練習スペースが必要だとしても、現在7割利用されているホールで練習利用の需要を満たすことはできないだろう。 ・利用者が払える使用料の問題も考慮すべき。 ・平土間より防音強化に費用をかけてはどうか。 ・舞台は固定であり、ピアノの移動動線などに工夫が無いと、練習利用には技術的なハードルが残る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的に使えるように ・防災拠点 可動席 ・災害の際の避難施設→平土間にできる 	<ul style="list-style-type: none"> ・固定型の客席に比べると一定のコスト増が見込まれ、平土間利用時の動線の確保や備品類の収納等についても工夫が必要。 ・練習スペースとしての平土間利用は、利用者が負担可能な使用料の面からの検討も必要。 ・平土間利用も可能な移動観覧席の導入は、予算の制約、利用用途・利用率、付帯諸室との関係性等と合わせて総合的に検討したうえで判断する必要がある。
	その他		<ul style="list-style-type: none"> ・出入り扉が急に閉まり危険なため、気軽に出入りできない 		<ul style="list-style-type: none"> ・音響面は、費用対効果を考慮しながら、より良い響きに。天井や壁面に遮音構造を導入することで外部との遮音性能を高め、利用者に対する制限を減じることが考えられる。北面・南面の開口部（ガラス窓）を防音構造の壁への改修も考えられる
搬入口	作業性	地上から舞台（地下1階）への搬入は、階段一部スロープのため人力作業	<ul style="list-style-type: none"> ・搬入用EVは可能な限り大きくしてはどうか ・搬入トラック用の駐車スペースが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・搬入口を大きく屋根付きにして楽に大きなモノをOKに ・雨に濡れないバリアフリー大きいものも入れられる倉庫/部屋。搬入のしやすさ！ ・住宅街の騒音にならない造りの搬入口→搬入口の地下化 	<ul style="list-style-type: none"> ・搬入エレベーターやリフター等の昇降機を設置 ・大型車の留め置きができる計画とし、雨・風の影響を受けないよう庇やシャッターを設けることを検討
その他	便所	男子便所 和式(2)洋式(2)、女子便所 和式(4)洋式(5)ウォシュレット無し。ホワイエに身障者用トイレあり。	<ul style="list-style-type: none"> 主催者用の小さめの控室が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・古い映画館のようなトイレを明るいトイレに ・男子トイレにもオムツ替えスペース 	<ul style="list-style-type: none"> ・客用トイレは、男女別のみならず誰でも利用できるトイレを設置し、興行場法上必要な数を確保 ・主催者控室やホワイエ用倉庫の設置

会議室棟

場所		現状・課題	有識者会議	ワークショップ	報告書案における記載
第1～第4会議室		<ul style="list-style-type: none"> ・遮音性能が悪い ・拡声設備やインターネット環境等のインフラの充実が求められている ・ホールの控室としての利用もあるが舞台まで動線が遠い 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室を楽屋にする可能性があるのであれば防音は必須 ・音の面をしっかりとできれば会議機能は包摂できるのではないかな ・防音設備を備えたスタジオを作れば十分会議室対応はできる ・音を出せる会議室や楽屋転用の会議室をきちんと作れば、この近辺で音楽の練習利用をしたい方が利用できる ・全ての部屋を防音にしてはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ・100名規模の会議室があれば使い勝手が良い ・小会議室は不要 ・音の出せる練習室が欲しい ・ピアノのあるリハーサル室 ・会議室よりイベントスペースを ・会議室の音響設備やプロジェクターは古い ・防音がしっかりしたりリハーサル室、練習室 ・明るく元気になる色に。部屋ごとに特徴が違って良い ・会議室とリハ室わける。音、利用者の区分 ・会議室は50名～100名くらいで小さな講演会をしたい ・小・中学生の部活利用→50人 ・防音室と会議室2部屋がつながるような部屋になると良い ・暗い、明るく きれいに オープンに！ ・会議室は必要？コミセンで代用可？ ・多目的会議室 ・会議室より控室、練習室、防音室 ・工作室・調理室（作ったものを使える。食べれる） ・練習室→合唱、オーケストラ、バンド演奏全て対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な市民の日常的な創造と交流の活動に利用できる多様なスペースとして整備 ・部屋によっては将来を見据えた実験的な表現の試み等を視野に入れた建築・設備の整備 ・用途や目的に応じて使い分けができる大小様々な仕様を複数配置 ・ある程度の広さを持ったスペースの確保 ・音出しを可能とする遮音性能に配慮した仕様 ・ホールのサテライト会場としても利用可能な配信などのニーズにも対応できる機能
第5・6会議室		<ul style="list-style-type: none"> ・遮音性能が悪い ・第6はグレードの高い設えだがニーズに合っているか要討 ・小規模の会議室は周辺施設（コミセン等）にもあり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホールを活かせるようなミーティングスペースや控室やスタジオを付随させると良い ・子ども達の新しい創造性を喚起するような施設とできないかな ・天井が高いとよい ・机と椅子が収納できる倉庫があるとよい ・名称は「会議室」でなく、「音楽練習室」「演劇練習室」「スタジオ」などにして、芸術文化の活動を支援してはどうか 		
和室		<ul style="list-style-type: none"> ・利用率は約50%にとどまっており、多くが会議利用（63.7%）である ・日本舞踊や伝統芸能関係の文化活動における楽屋利用もある 	<ul style="list-style-type: none"> ・和室を控室にした時のセキュリティ面に懸念（距離・動線の問題） ・丸められる畳を敷いて着付けをすれば、必ず和室が必要というわけではない ・現状の利用者・利用状況の確認が必要 ・なくす場合には現状の利用者への説明が必要 ・市全体として、きちんとした茶室を少数確保するという観点が必要 ・（他施設で）今ある良いものをもっと使ってもらう仕組みは重要 ・畳の部屋でなくとも、必要なときに畳にできる部屋が一つあってもよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・和室に机を置けるように！→掘りゴタツ式可 10人～50人位可？ ・高齢者バリアフリー和室 	<ul style="list-style-type: none"> 洋間みの場合は、和物利用にも対応できるよう、移動可能な畳やゴザなどの備品類を設置

便所		トイレが階段の踊り場に設置されている		<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ 各ゾーン各エリアごと ・古い映画館のようなトイレを明るいトイレに ・トイレ・バリアフリー各階に。 ・男子トイレにもオムツ替えスペース 	より利用しやすい配置に見直すとともに、仕様・数量も改善
バリアフリー		エレベータがなくバリアフリー対応がなされていない			エレベータを設置

共用スペース

場所		現状・課題	有識者会議	ワークショップ	報告書案における記載
ロビー	広さ	ロビーがほとんどなく、会議室棟利用者や施設利用者以外が過ごせる場所がない。 もぎり前の待合スペースがない	<ul style="list-style-type: none"> ・今の施設が市民にとって少し入りにくいことを改善しなければいけない。 ・ホワイエとロビーは分けるのがベストだが、この規模のホールで分けるのがよいかは議論が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャラリーに出来るロビーにしてほしい ・ホールの入り口に時間前に来た方が集まる場所がない ・道路に面した部分をフラットなオープンスペース ・ふらっと立ち寄り小休止できるスペースピロティの設え ・立ち寄りスペース→1Fを拡張してできるだけ広く ・毎日来るのはホールではない。共用エリアも活用したい ・展示ギャラリー→通りに面したロビーなど ・ふらりと立ち寄れるような絵画が20点は展示できるような ・予約なし使用できるスペースが欲しい ・展示ギャラリー→通りに面したロビーなどふらりと ・明るいオープンエントランス 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民がいつでも気軽に居心地よく過ごせる空間。広さや動線、椅子・テーブル等の備品配置の検討 ・外部から活動を認識しやすくするデジタルツールも活用した掲示機能を充実 ・ホワイエは、公演前後の休憩・憩いの場としての雰囲気づくりと、公演のない日にも展示や情報の受発信などが可能な場として、気軽に訪れることができる広場的な機能を検討
広場			<ul style="list-style-type: none"> ・広場的な機能を持たせたい ・オープンスペースなり、オープンエアの空間をどう作れるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンスペースを造って欲しい。椅子や飲み物は飲んでも良い待ち合せspace ・オープンなスペースでふらっと人が集まる ・オープンスペースもつくってイベント等できるようになると良い ・開放感のあるホールのお庭→自由に集まれる・カフェ ・屋外でイベント（コンサート、バザーなど）が出来るスペース ・子どもが遊べる公園を屋上に ・駐車場スペースの活用 ・まちの中に融和するようなオープンスペース ・展示スペース だれでも ・たまり場がないからあった方がいい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピロティ空間の活用、緑地や広場の整備によって、開放感があり、市民が入りやすく立ち寄りやすい外観や佇まいの外構空間を設ける ・緑地・広場などのオープンスペースを設け、日常的に寛げる市民・来街者の憩い・交流の場となり、気軽にまちや芸術文化の情報に触れられるように ・屋外スペースの計画に関しては、周囲の住宅地にも配慮し、管理面に留意
情報			現状では古い掲示板があるだけで公会堂の中で何が行われているのかが分からない	<ul style="list-style-type: none"> ・まち案内の機能 ・最先端の機器を用いて全国に発信できる映像設備（スタジオ） ・地域放送局spotify ・吉祥寺イベント告知スポット→10人～20人 ・市内案内コーナー→10人位は入れる広さ ・情報検索ができる設備 ・大規模チラシラック ・掲示板 もっとフレンドリー、かっこよく ・掲示板より→大きなスクリーン ・駅前デジタルサイネージでの広報 ・吉祥寺駅からの看板告知 ・文化的発信の場に 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な情報が日常的に得られる機能 ・多様な情報が得られる「まち」のコンシェルジュ的な機能
防災		<ul style="list-style-type: none"> ・帰宅困難者一時滞在施設として位置づけられている ・地下の旧レストランスペースを防災備蓄倉庫として利用 		<ul style="list-style-type: none"> ・防災の拠点として考える ・大規模災害時の避難施設機能 	必要な備蓄スペースは引き続き確保
緑化		敷地内緑化面積の大幅な不足（増築の場合に現行遡及が必要）	緑化面積の問題は、壁面緑化での対応も可能	<ul style="list-style-type: none"> ・緑あふれるオープンスペース夜でも明るく？治安は維持 ・パープル通りに面している所は緑化 ・緑多きWalk way & 屋上ガーデン→できる限り広く ・屋上緑化公園 夏の夜に映画会 ・駐車場の芝生 ・屋上緑化の オープンスペース ・周辺の緑を多めに 井の頭公園と融和 	緑地・広場などのオープンスペースを設ける
駐車場			搬入トラック用の駐車スペースが必要	<ul style="list-style-type: none"> ・一般駐車場を屋外スペースに ・障がい者用、搬入用以外は不要 ・駐輪場 地域住民が来やすく、充分に！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般の来館者用の駐車スペースは必要最低限、駐輪場と共に条例で必要とされる台数のスペースを適切に配置 ・搬入トラック(4t程度)の搬入時の駐車スペースを確保し、ホールの主催者用の駐車スペースは最低限を確保

場所		現状・課題	有識者会議	WS	検討課題・対応案
その他				<ul style="list-style-type: none"> ・井の頭公園への誘導を高める ・ランドマークとして小さくとも省エネ ・ユニバーサルデザインの未来志向のデザインに ・国民保護法制に基づく避難施設→数百人 ・吉祥寺のコミュニティの入り口に！ ・事務室はオープンに明るく声がけやすく ・夏の夜に映画会が出来るといいので50人～100人収容規模で ・マルシェのような早朝市場 ・カフェとかレストランがほしい！ ・預かりもあるキッズスペース→出演者、お客、会議や練習に ・子どもたちを安全に遊ばせるスペース ・若者たちが集って成長できる場→プロの援助 ・非常時の逃げやすさ、移動しやすさ ・再生エネルギー（SDGS）の活用 ・授乳室→30㎡くらい？個室 ・保育・子ども預かりスペース ・預かりもあるキッズスペース ・各吉祥寺地区にある類似施設とのすみわけ（特に会議室、茶室など）（コミセン、商工会館、民間の貸会議室、市民文化会館） ・隣接住宅地とどう連携（配慮）できるか 	